

こうさん君

第21号

抗酸化工法を
あそび隊
ニュース

環境回復サロン叶誕生秘話

加瀬信行様より

加瀬さんは、最愛の奥様が2005年に胆嚢ガンの末期と宣告され、その翌年に友人に誘われ環境回復サロンを体験。入浴前にはかなり苦しそうにしていった奥様の表情が一変していった。帰るときに楽しいそうなお話は憎くべきものがあったと。本人もまた、2005年の暮れに足の靭帯を損傷してしまいびっこを引き引き、奥様と通われていたそうです。ところが2度目に入って帰るとき、痛みも無くまともに歩いているのに気が付き、何で？ 医者からは簡単に治らないと言われていたのが、治ってしまったのです。奥様も、元気であった頃と変わりが無いくらい回復されてきたのですが、強い薬の副作用と長時間のサロンの道程では負担がかかりすぎ、自宅に何とか作ってあげたいと準備に取り掛かったが間に合わず、2006年に他界されました。このことで加瀬さんは、同じような病気で悩む人達が、その家族が救いの手を待っている光景がいつも頭をよぎり、ぜひ！この場所で！と強い思いで、環境回復サロンが現実化されたのです。知名度はまだまだ低いのですが、確実にこのような方々のお役に立っていることとうれしく思います。もっと

もっと情報を周りの方々に発信していく必要があります。抗酸化工法をあそび隊を通して、多岐の方々と交流しながら情報交換して盛り上がりつついく事で必要なところに情報が届くのではないかと思っています。皆様の熱い情報を待ってますよ！

陶板浴に入り始めてからかれこれ5年になりますが、気管支の悪かった私は、3ヶ月に一度は医者の世話にならないと健康の維持が出来ない人でした。それが陶板浴に通い始めてから一度も病院を訪れた事がありません。陶板から発生する波動？ かびない空気？ そう思ってきましたが、証となるものは、通院歴がなくなったことでしょうか！この度、抗酸化工法をあそび隊プレスレットをつけてみての感想は、2、3日続いた労働で、特に下半身がしびれるような疲労を覚え、足にプレスレットをして1時間ほど眠ってしまいました。目覚めて！...その疲労感がまったくありません。これは？このプレスレットは何なのだろう？不思議な不思議な1日でした。成田市 N.K様



抗酸化工法にはまりました！

斉藤塗装アソビ隊さんより

抗酸化工法を始めるきっかけは、友人の奥さんが、シックハウス症候群でどうにかできないか？という相談を受けた際、自身も塗装業という毒物を扱う仕事をしているので、何とかならないものかと、必死で解決策を探したそうです。そしてたどり着いたのが、抗酸化工法でした。施工した後、友人の奥さんはだんだんと症状が軽くなると、体に変調をきたすことがなくなったそうです。友人の奥さん一件以来、ただ、見た目がキレイな塗装ではなく、内側からキレイになる塗装をモットーに毎日楽しく仕事をしているようです。自身も、インフルエンザにかかり、高熱で仕事どころではなかったのですが、納期も迫りやむなく無理をして仕事に出かけたのです。ところが、抗酸化工法の塗装工事をしていたところ、だんだんと熱が下がり仕事が終わるころには、インフルエンザもどこかに消えていたそうです。それ以来抗酸化工法にとっぴりはまるきりかけにもなったようです。抗酸化工法を、至懸命お客さんに説明すればするほど、後ずさりされ変な目で見られていたようで、それ以来、説明するのをやめ、起きている事実だけを伝えるように心がけたそうです。

伝えるむずかしさから得た教訓から抗酸化工法をかなり楽しんでるようです。この頃では、シックハウスで困ったら斉藤と言うように、かなり名前が浸透してきているようで、受注も増え忙しく仕事に励んでいるこの頃のようにです。

ヤマメさんへ 斉藤さんの事）おはようございます。気になりにながらもうっかりしてしまいました。東村山の健康館さんの還元陶板浴の感想です。先日、8回目の陶板浴の時の事です。左手にプレスレットをはめたまま入浴しました。そうしたら、いつもよりお腹がゴロゴロなる回数が増えて、いつもの時よりも慢性的な背中や胸の痛みが和らいだ感じがし、とても体が楽になりました。日野市 M.K様

